

チームけせんの和 だより

2022
vol.35
12月号

発行 陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字太田512-2 TEL 0192-54-3221 FAX 0192-55-5241

「チームけせんの和」に寄せて



岩手県立高田病院 院長 阿部 啓二

田畑前院長の急逝のため4/1より県立高田病院院長職を拝命しました阿部啓二と申します。

着任から半年余りが過ぎ、ご挨拶が遅くなったことをお詫び申し上げます。私が就任時、当院はコロナ占有病棟で一般の患者様は入院できない状態でご迷惑をかけていたと思います。前任地の遠野病院で行っていた1病棟を分割、一般/コロナのハイブリッド病棟としていた経験から当院でもと考え、安全対策など課題を一つずつ解決し、4/22にハイブリッド病棟にできました。ただわずか3日後にPhase 3⇒2になったため一般病棟に復しました。その後第7波から現在は第8波に差し掛かっている状況です。現在の新型コロナの感染力の強さからは当院でのハイブリッド病棟は今後無理かと思われます。

皆様に時々言われることは高田病院の現状がわかりにくいということです。確かに一般外来や入院は受け入れているものの、（岩手県）医療（局）政策により24時間365日の救急患者は受け入れられないため、皆様が支えて下さっている患者様が夜間休日に具合が悪くなった時に搬送されるのは救命センター併設の大船渡病院が多いかと思われます。そのため顔が見えにくい、具合悪くなっても当てにできない病院と揶揄されることもあるようです。これはその中で一生懸命働いている職員にとっては非常に悔しい評価です。先日、陸前高田市の市勢功労者として表彰された元院長の石木幹人先生と皆様で始められた「ほっとつばきシステム」は少子高齢化の在宅医療を支える画期的、先進的システムだと思います。そのすそ野を広げつつ、さらにプラスアルファの負荷価値を付けて、陸前高田市の在宅療養を支える皆様と患者様を支えられる病院になれるようにしたいと考えています。在宅療養と病院は切っても切れない関係で、連携を密にしていくことが大切と思っています。

私は山形県酒田市出身ですが、気仙沼病院初期研修で知り合った妻・義父母と市内に同居する岩手県人陸前高田市民です。義父母は80歳超でまだ元気ですが、在宅療養もいずれ必要になる年齢であり、『陸前高田の在宅療養を支える会』は他人ごとではありません。

顔が見えない、利用しづらい、利用するのが不安という懸念を払拭できるよう皆様とともに頑張っていく所存です。地域病院である高田病院が皆様のためにより良い病院になることが在宅療養を支えることにも繋がると確信しております。これからもご指導・ご支援どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年11月25日(金)

令和4年度 第2回研修会(63名参加)

テーマ「地域医療を守り・育てる」

講師 岩手医科大学附属 内丸メディカルセンター長 下沖 収 先生

今回の研修会では、「地域医療を守り・育てる」について、下沖 収先生からご講演をいただきました。

最初に、医療を取り巻く環境変化として、超高齢社会を迎えようとしている中で、求められる医療が変化し、財源や労働人口減少により、地域医療の危機が深刻化する見通しについて話されました。

日本の人口ピラミッドの推移についても話され、団塊の世代が75歳となる2025年には75歳以上が全人口の18%、2060年には65歳以上は約40%となる(岩手県は全国平均より、高齢化が進んでいる)。高齢者1人に対する生産年齢人口は、1965年には9.1人、2050年には1.0人となり、お神輿から肩車への図式が予測される。

現在、専門医療が高度分化し、“うちじゃない医療”を招いていることから、診療の幅を持った総合診療の必要性を強調されました。

総合診療で地域医療を支え・守り、タイミングの良い専門医とのスムーズな連携で、効率の良い医療体制を気づくことが可能と、県立S病院での経験を元に伝えていただきました。地域医療を守るためには、住民と病院との関心・対話が絶対に必要不可欠であり、「自分たちの病院という意識」「地域の皆さんの病院という意識」について学びました。

地域医療を守る人材を育てるにあたり、地域病院は大病院にはない貴重な学び場であり、そこで働く面白さや楽しさを学生や総合診療医を目指す医師に伝えることも、人材育成につながると下沖先生は言及されました。

講演の中で、内丸メディカルセンター総合診療科の新型コロナ対応についての状況も語っていただきました。

また、下沖先生がお若い頃、着任されていた国民健康保険広田診療所、県立住田病院の診療状況をエピソードトークを交えながらお話しくださいました。

今回の研修で地域医療の危機を知ることで、住民として地域医療を守り・育てることの意識や大切さを教えていただきました。「チームけせんの和」としても、今後の活動の中に今回の学びを生かしていきたいと思います。

なお、久しぶりの大ホールでの研修会でしたので、新型コロナウイルスの感染予防対策をより徹底し、開催いたしました。会員の皆様のご協力により、無事研修会を終えることができました。お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。



♡「フレッシュさん」紹介コーナー♡

Q & A

- ① 出身地
- ② 好きな食べ物・嫌いな食べ物
- ③ 陸前高田市の好きな所
- ④ おすすめの観光地・スポット
- ⑤ 休みの時の過ごし方
- ⑥ 熱中していること、マイブーム
- ⑦ 集中する時や、気持ちを高める時に聞きたい音楽は？
- ⑧ 誰にも負けたいとは言えないけれど、そこそこに良いと思うアピールポイントは？

●希望ヶ丘病院（認知症疾患医療センター） 医療福祉相談室

金野 友紀子（療養・精神）

- ① 陸前高田市高田町
- ② 好きな食べもの：嫌いな食べもの以外はなんでも…
嫌いな食べもの：ミョウガ ・ ホルモン
- ③ 『人』と『海』
地域の方々に育てていただきました。震災後10年以上なんとなく海を遠ざけてきましたが、ある日、高田松原に降り立って、「ああ、これ（海）が高田だなあ…」と。
- ④ 箱根山展望台
凍てつく冬も、蒸し暑い夏も、高田の変わらない横顔と広田湾が一望できます。
- ⑤ アウトドア：キャンプギアを持って自然の中でランチ＆コーヒー！
インドア：時々ミシンをかけ…、時々パンを捏ねたり…、時々曲を書いたりしています。
- ⑥ 5年ほど前からお味噌づくりをしています。時間が醸す味を育てる楽しみに魅かれ、塩こうじやパンを発酵させる生イーストも自分の手で育てるとかわいいなあと…。
- ⑦ カフェジャズ全般／フィリップ・ジョルダーノ / サラ・ブライトマン
- ⑧ 医療と介護にまたがって在宅⇄施設・医療機関の間の段階的支援や、患者様・利用者様のご状態に合った医療ケア・サービスなどを意識した支援を心がけています。患者様や利用者様、そのご家族様の暮らしをともに描き、地域の支援者の皆様と共働してまいりたいと仕事をする上で心に留め置いています。



●リボン統括部長 理学療法士

草別 拓郎



- ① 秋田県大仙市
- ② 好きな食べ物：お刺身
嫌いな食べ物：煮たニンジン
- ③ ほとんど雪が降らないところ
- ④ 玉乃湯
- ⑤ 運転手
- ⑥ ゴルフ
- ⑦ Avicii 『Wake Me Up』
- ⑧ ポジティブシンキング

●広田歯科医院 歯科衛生士

佐藤 理恵



- ① 陸前高田市
- ② 好きな食べ物：家族と作る餃子
嫌いな食べ物：貝類
- ③ 食べ物が美味しい
- ④ 陸前高田市立博物館
- ⑤⑥ 育児真っ最中
- ⑦ 子供たちと歌ったり踊ったりして、盛り上がる曲
- ⑧ 世間話程度なら、色々な年齢層と話を合わせられること

●そうごう薬局高田店 薬剤師

中村 俊介

- ① 兵庫県西宮市（甲子園球場のそば）
- ② 好きな食べ物：プリン、嫌いな食べ物：納豆
- ③ 海鮮がおいしいところ。ホタテやカキ、カツオなどどれも味わったことがないほどおいしく感激した。
- ④ 姫路城（兵庫の観光スポット）きれいに建て替えられたので、機会があればぜひ訪れてみてください。
- ⑤ お菓子作り（簡単なパンケーキや牛乳寒天などです）
- ⑥ 間もなくポケモンの最新作が発売されるため、楽しみにしています。
- ⑦ aqua times の曲を聴くことが多い。
- ⑧ 周りの人と打ち解けやすい点です。仕事をするにあたって、円滑に患者さんとコミュニケーションをとることはもちろんですが、ほかの薬剤師や事務の方々とのコミュニケーションをとることができているからこそ、今うまくやれているように感じています。



新規入会事業所のご紹介

♥とうごう薬局広田店

とうごう薬局は、東日本大震災直後に県外から薬剤師さん達が集まって、有志で被災地への訪問投薬活動の延長で始まった薬局です。陸前高田市は甚大な被害を受け、お薬が届かない方々がとても多く、災害救助法が切れるタイミングで合法的に訪問投薬を行うには調剤薬局を設立するしかありませんでしたので、2011年7月に「とうごう薬局」を陸前高田市竹駒町にプレハブでオープンしたのが始まりです。

とうごう薬局広田店は、広田診療所の皆様からの要望に何とか応えようと、2019年5月にオープンしました。現在は地域の皆様の産直コーナーもあり、スタッフも広田町出身の方を中心に働いて頂いていて、まさに広田町の皆様に支えられて営業しています。



♥黒崎温泉企業組合

黒崎温泉企業組合 理事長 村上 新一

三陸海岸・広田半島の先端にあり、刻々といろいろな表情を見せてくれる海。黒崎仙峡温泉はのんびりとお湯につかりながら太平洋の雄大な景観を楽しめます。大海原に抱かれてゆっくりゆったり楽しめるくつろぎスポットです。

お食事処「さんきょう」では季節限定の生ウニ丼、あわび定食、めかぶ定食や、“たかたのうまいもん”を使った料理を提供しておもてなしをしております。団体のご予約も受け付けております。

感染症対策を徹底しておりますので、ぜひ皆様でご来館ください。



♥ロッツ株式会社玉乃湯

ロッツ株式会社玉乃湯 熊谷 礼子

山懷に抱かれた黄金伝説の郷

玉乃湯は江戸時代末期を発祥とする宿泊温浴施設です。古くから未病や皮膚に効果的な泉質で知られており、今も変わらず愛され続けています。緑豊かで春夏秋冬の景色と、川のせせらぎや鳥の鳴き声が聞こえ、心を癒してくれます。岩手県では初登りができる山として有名な氷上山の登山口にもなっております。登山の後はゆっくりお風呂に浸かり、汗を流すのも格別です。



編集後記

師走を迎え会員の皆様におかれましては一層ご隆盛のこととお慶び申し上げます。コロナ禍の中、本年もたくさんの感謝や反省をして振り返る時期となりました。お陰様で今年度第2回会報の発行となり、偏に皆様のご協力があったからこそと思っています。今年度会員に入会頂きました、黒崎温泉企業組合・玉乃湯・とうごう薬局広田店の皆様に紙面をもちまして心よりお礼申し上げます。

なお、会員の皆様には今後も更なるご支援を賜りますと共に会報をよろしくお願い致します。

次号は3月頃発行の予定です。